

一〇 東方学術賞顕彰式

謹啓 新春を迎え 貴台におかれましてはますます御清祥のことと御慶び申し上げます
さて 財団法人 東方研究会は 本年度めでたく創設三十周年を迎えます。そこで記念すべきこの年に これまでインド大使館との共同開催にて 学術及び文化活動の優れた業績を世に広く顕彰すべく行なつてまいりました東方学術顕彰式の第十回顕彰式を執り行ない 併せて三十周年の記念式典を挙行することに致しました

先般来 選考委員会において慎重に審議した結果 第十回東方学術賞受賞者は

学術特別顕彰として

三 枝 充 恵 (筑波大学名誉教授・文学博士)

学術推進顕彰として

中 村 敏 夫 (元東京弁護士会副会長・前第一生命法律顧問・弁護士)

森 田 禅 朗 (四天王寺副管長・前四天王寺学園理事長)

学術賞として

金 知 見 (韓国国立精神文化研究院教授・文学博士)

田 辺 和 子 (名古屋大学講師・東方学院講師・文学博士)

の各氏に決定しました 顕彰式は 左の如く行ないます

一、場 所 インド大使館

東京都千代田区九段南二丁目二ノ十一(千鳥が淵)

二、日 時 平成九年三月二十四日(月) 午後三時〜午後四時半

また 引き続き左の如く三十周年記念式典を行ないます

一、場 所 フェヤーモントホテル 地下一階「鶴の間」

東京都千代田区九段南二丁目一ノ十七

電話〇三―三二六二―一五―九

二、日 時 平成九年三月二十四日(月) 午後五時〜午後七時

三、会 費 一万円

つきましては 御多用中恐縮ですが御来駕の榮にあずかりたくここに御案内申し上げます 敬 具

平成九年二月吉日

財団法人

理事長
学院長

東 方 研 究 会
中 村 元

各位

追信 会場の都合がございますので 御出欠を同封の葉書にて 三月十三日迄に御知らせ
頂きますようお願い申し上げます

式次第

- 一、開会の辞・・・・・・・・・・阿部慈園総務
- 二、挨拶ならびに受賞者の業績紹介・・・・・・・・中村元理事長
- 三、インド大使挨拶・・・・・・・・Kuldip Sahdev
インド大使
通訳 高橋堯英主事
- 四、賞の贈呈
 (一) 英文賞状並びに副賞授与・・・・・・・・Kuldip Sahdev
 インド大使
 三枝充憲先生
 中村敏夫先生
 森田禅朗先生(代理、平岡宏一先生)
 金知見先生
 田辺和子先生
 (二) 和文賞状並びに副賞授与・・・・・・・・中村元理事長
 △特志勤務、坂本節子・中浦仲代両女史の顕彰・・・・・・・・中村元理事長▽
五、謝辞・・・・・・・・三枝充憲先生(代表)
六、祝電披露・・・・・・・・阿部慈園総務
七、閉会の辞・・・・・・・・阿部慈園総務

中村理事長挨拶

主催者を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。

さて、ときに財団法人・東方研究会は、おかげさまで本年度にはめでたく創設三十周年を迎えました。この記念すべき年に、これまでインド大使館との共同開催にて、学術および文化活動の優れた業績を世に広く顕彰すべく行ってまいりました。東方学術顕彰式の第十回顕彰式を執り行い、併せて、三十周年の記念式典を挙行することに致しました。

このたびインド大使館のご協力を得まして、共同でここに第十回東方学術賞の贈呈式を開くことができますということは、われわれの最も光栄とするところであります。

もともと財団法人東方研究会は、「東洋思想の研究及びその成果の普及」ということを目的としている研究会でありまして、昭和四十五年（一九七〇年）十一月十二日付けをもって財団法人の設立認可を受けました。まことに微々たる団体ではありますが、全国にわたる諸方面から熱心な期待を寄せられ、諸般の活動を続けて参り、次第に発展して参りました。そうして、その活動の一環と致しまして、斯学の発展をはかるために、真に学問的意義があり、世の人々を益する恒久的な事業を遂行したいとかねがね念願しておりましたが、その一環としてインド大使館と共同主催にて「東方学術賞」を設けて、学者のすぐれた業績を世に広く顕彰することに努めて参りました。

今年は先般来、選考委員会において慎重に審議した結果、第十回東方学術賞受賞者は、学術特別顕彰として三枝充恵博士、学術賞として金知見博士、田辺和子博士、学術推進顕彰として弁護士の中村敏夫氏、四天王寺・和宗管長の森田禅朗和上の業績を讃えることに決定しましたので、本日午後三時からインド大使館において顕彰式を行うことに致しました。顕彰式に引き続き、近くのフェアモント・ホテルにおいて東方研究会の三十周年記念式典を行います。

本日の式典挙行については、インド大使館のクルディプ・サハデブ (His Excellency Kuldip Sahdev) 大使閣下をはじめ、インド大使館の役員各位より多大の御懇切な御配慮に与りましたことに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

また来賓各位には、御多用中、御繰合せ御来駕賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。次に、顕彰を受けられる方々の御功績を簡単に御紹介申し上げます。

「東方学術賞・学術特別顕彰」を受けられます三枝充恵博士は、東京大学でインド哲学・仏教学を修められたのち、共立薬科大学、國學院大学、筑波大学、日本大学で多年にわたり、研究と教育にたずさわってこられました。現在、筑波大学名誉教授であられる一方、わが東方学院でも講師として御活躍でございます。

博士のご業績はきわめて多岐にわたりますが、ここでは大きく三つに分けて紹介させていただきます。

一つは、大乘仏教の中観派の思想研究、特に『中論』を中心とするナーガールジュナ（龍樹）という哲学者の研究にすぐれたご業績をあげられています。その中には、かつてフンボルト奨学生としてドイツのミュンヘン大学に留学し、Ph.D.を受けられた『大智度論研究』も含まれます。

二つ目は最初期の仏教に関する研究です。広汎な資料を駆使して著された大著『初期仏教の思想』では、特に縁起、無常、無我など、仏教の根本的かつきわめて重要な教義に対する深い洞察がなされ、最初期の仏教の思想研究に大きな貢献をはたしています。

三つ目は比較思想の領域の研究です。学位論文『東洋思想と西洋思想・比較思想序論』に表れていますように、仏教という限定された領域からだけでなく、つねに世界的な視野でものごとを捉え、西洋哲学と東洋哲学の融合ないし統合を目指そうとする姿勢は、一般社会人の間に仏教思想の深い理解をもたらしました。博士の存在は、思想研究を志す者のすぐれた模範として、大きな影響を与えつづけています。

博士には一般向けの著作も多く、『パウッダ』『仏教入門』などは、独特の文体でわかりやすい語り口が親しみをもって受け入れられています。

中村敏夫弁護士は、第一高等学校を経て、昭和十六年東京帝国大学法学部法律学科を卒業されました。その後第一生命保険相互会社などを経て、昭和四十二年には、東京弁護士会副会長、日本弁護士連合会理事を務め、さらに第一生命館ビル内に中村敏夫法律事務所を開設されました。

社会における様々な形のご貢献に對しまして、勳四等瑞宝章をお受けになられております。

中村弁護士は、財団法人・東方研究会の設立当初から多大な尽力を賜った最も重要な協力者のひとりであります。当研究会は、昭和四十五年十一月十二日付けで文部大臣より財団法人設立の許可を得ておりますが、中村弁護士はそれより以前の昭和四十五年七月十五日の（財）東方研究会設立発起人会における設立発起人の一人でございます。その設立発起人は、ほかに現理事長中村元、現理事宇佐見鉄雄氏、故倉知善一氏の四名からなっております。

さらに、現在の当研究会の地所および建物を購入する際には、中村敏夫弁護士が中心となり同志を募り、寄付募金活動を推進して頂きました。以来、弁護士の法律事務所に当研究会の財務管理部をおかせて頂いております。そして今日に至るまで当研究会の理事、常務理事として、常に会の維持発展のため、御盡力頂いてきました。中村弁護士は、当財団法人のために、みずから多大の私財を提供しておられます。

今までに当研究会から多くの研究者が巣立ち、研究会も着実な歩みを示すことが出来ました。これも中村弁護士をはじめとしてその同志の

皆様方の協力のおかげ様であり、それがございませんでしたら、今日のこのような当研究会の発展はなかったといっても過言ではありません。この様な、中村敏夫弁護士のご功績に対し、当研究会と致しましては、「東方学術推進顕彰」をもってお報いしたいと存じます。

森田禪朗博士は、外科の名医としてご活躍される傍ら、研究者としても優れた業績をあげられ、のち、四天王寺国際仏教短期大学部保健科の教授として研究・教育にあたられました。

昭和五十九年から平成七年まで、四天王寺学園および社会福祉法人・四天王寺福祉事業団の理事長を務められました。

学園関係では、イギリスに小・中・高校よりなる英国四天王寺学園を開設されたほか、四天王寺国際仏教大学とウィーン大学法学部・労働法・社会法研究所との間で十年来続いております共同研究を推進されました。その共同研究会の成果は、順次世に問われておりますが、私も御依頼を受けてウィーン大学にて「仏教と自然」と題したお話をすることがございます。

また、ドイツのフルダ神学大学と姉妹校の提携をなし、仏教の大学とキリスト教の大学が交流するという歴史上例のない画期的な事業も展開されました。そのフルダ神学大学から二人の教授が来日されたおり、私が名誉会長を務めております比較思想学会で、キリスト教の一つの重要な観念「超越」と実践形態「先祖崇拜」について、御研究報告を頂いたことがございます。

博士は、『オーストリア入門』『ドイツ・フルダ市入門』という書物も御監修されていますが、その内容は、歴史・地理のみならず、政治・経済・社会・文化・教育などを包括した、きわめて有益なものです。

福祉事業団関係では、四天王寺病院を全面的に改築するなど、大阪府に全部で二十三あります施設の拡充・発展に努められました。その間、昭和六十年から平成五年までは、大阪府管轄の社会福祉法人・大阪府障害者福祉事業団の理事長も務められております。

このほか、昭和三十七年から長年、民生委員・児童委員をなさり、現在も、大阪社会事業経営協会会長、大阪市民生委員児童委員連盟会長、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会副会長、大阪市社会教育委員としてご活躍でございます。

宗教家と致しましては、昭和五十四年から平成七年まで、四天王寺の執事長を務められましたが、この間、大阪市仏教会会長、大阪府仏教会会長を歴任された、大阪の仏教会の重鎮であられます。最近、四天王寺を本山とする和宗の管長に就任されました。

以上のように、諸方面に広く御活躍でございますが、財団法人東方研究会に対しまして、平成七年まで長きにわたり、関西における東方学院後援会の取りまとめ役として、大変な御尽力によって、御支援頂きました。

多くの甚大な御功績にたいしましては、既に、厚生大臣賞、読売新聞社医療功労賞、大阪市民表彰、藍綬褒章、勳四等旭日章、林記念賞、をお受けになられておりますが、内外にわたる博士の学術推進への貢献に対しまして、ここに、財団法人・東方研究会は、「東方学術推進

顕彰」をお贈りしたいと思います。

韓国精神文化研究院教授であります金知見博士は、一九六三年に韓国の東国大学校大学院で哲学修士号を取得後、日本の駒澤大学大学院に留学され、一九六七年に禅学専攻で同大学博士課程を修了されました。さらに東京大学大学院に進まれ、華嚴学専攻で一九七一年に博士課程を修了されました。東京大学大学院在学中の一九七〇年には東国大学校仏教大学の助教授に任命され、一九七三年には東京大学大学院より『新羅華嚴思想の研究』にて文学博士号を取得されました。

韓国に帰国後、一九七六年まで東国大学仏教大学助教授を務められ、国立江原大学校人文大学教授を経て、一九八九年より韓国国立精神文化研究院教授として勤務されております。その間、一九七六年には大韓伝統仏教研究院を創設され、以後、院長としてあまたの研究、数多くの出版をてがげられました。それに加えて、十二回にわたる国際仏教学術会議の開催と、韓国内外の仏教学発展と学術交流に尽力してこられました。また一九九〇年には一般の人々への仏教思想浸透を目指し海東大学校・仏教教育大学を創設され、その大学院長として教育の任に当たられております。

金知見博士の業績は多岐にわたりますが、(一)新羅義相関係、(二)高麗均如関係、(三)高麗知訥関係、(四)朝鮮金時習関係の大きく四種にわけられます。博士の研究の核心は、あくまで韓国華嚴学の研究でございます。

特に、「華嚴一乘法界図記訳註」では、海印寺所蔵の「法界図叢録」の中にみられる「法界図記」と大正新修大藏経中の「法界図記」両本の校勘を行ない、大正新修大藏経の誤謬を指摘し義相の華嚴思想への接近を可能にさせました。また、金博士ご編集の『均如大師華嚴学全書』は、海印寺所蔵の均如関係の版本を中心に均如の依拠文献に緻密な頭註をつけたもので、これによってそれまで不明であった中国・朝鮮・日本の当時の典籍・人物などが明らかとなり、爾来、韓国内外での華嚴研究の重要なテキストとなっております。

それ以外にも今まで知られていなかった文献の調査を行ない、数多くの資料を発表され、韓国仏教学の発展に多大な貢献をされました。以上の如き金知見博士の仏教学・華嚴学に関する業績を高く評価して、財団法人東方研究会は「東方学術賞」を贈り、御功績を称えたいと存じます。

田辺和子博士は、東京大学ならびに同大学大学院においてインド学・仏教学を研究されました。そのうち、タイ国王立チュラロンコンン大学におきまして、ヴィスッドウ教授に就いて、パリ仏教とくにジャータカの研究を深められました。帰国後、敦賀女子短期大学助教授を経て、現在は名古屋大学講師・愛知学院大学講師・東方学院講師として原始仏教・南方上座部仏教の研究に専念しております。

平成六年十二月「パリ聖典に見られる物語文学の世界・・・*dhutaṅgabāṇī*ではじまる過去世物語の研究・・・」と題する論文で、愛知学院大学より博士（文学）の学位が授与されました。本論文は同名のタイトルで平成九年二月二十八日山喜房仏書林より刊行されました。本書はパリ聖典に見られる物語文学の世界のうち、

“*dhutaṅgabāṇī*”ではじまる物語九十七話を取り上げて、それらの内容とモチーフおよび現れ方である表現形式を調査・分類し、これらの物語が仏教文学上どの類型にあたるかを、仏教思想との関連を考察しつつ解明した労作であります。

また、訳書として『ジャータカ全集、第二巻』（春秋社）、『仏教説話体系十二、ダンマパダアッタカターより』『同二四、世界のジャータカ 二、タイ編 パンニャーサジャータカより』（すずき出版）があり、

共著としては私（中村元）との『ブツダ物語』（岩波ジュニア新書）、『仏像散策』『仏教植物散策』『仏教動物散策』（東京書籍）、『人間釈尊の探求』（サンポー）などがあります。

田辺和子博士は、わが国では数少ない本格的なパリ文学研究者であります。東方研究会では今まで評議員としてその発展に尽力されてきました。同博士の功績を讃えて、財団法人東方研究会はここに「東方学術賞」を贈ります。

本日の式典につきましては、朝野各方面から御多忙の中を御繰合わせ御臨席賜り、あるいは電報などで祝意をお伝え下さいましたことを、ここに厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございます。

第 1 0 回 東方学術賞顕彰式

顕彰者
略歴・主要著作目録



日時：1997年3月24日

於：インド大使館

財団法人 東方研究会

東方學術特別顕彰

三枝充恵博士

- 1923年4月18日 生
- 1950年 東京大学文学部哲学科卒業
- 1955年 東京大学大学院修了
- 1955年～1962年 東京大学文学部助手
- 1959年～1962年 西ドイツのアレクサンダー・フォン・フンボルト奨学生として
ミュンヘン大学に留学
- 1962年 ミュンヘン大学から Dr. Phil. を受ける
- 1962年 共立薬科大学教養部助教授
- 1963年 国学院大学文学部哲学科専任講師
- 1964年 国学院大学文学部哲学科助教授
- 1967年 国学院大学文学部哲学科教授
- 1971年 文学博士号取得
- 1975年 筑波大学哲学思想学系教授
- 1987年 日本大学文理学部哲学科教授
- 1993年 日本大学文理学部哲学科教授定年退職
同大学院非常勤講師として現在に至る

東方學術推進顕彰

中村敏夫弁護士

1912年5月18日 生

1930年 第一高等学校文科乙類（第一外国語：ドイツ語）入学

1933年 東京帝国大学法学部法律学科入学
（病気のため入退学あり）

1941年 同学科卒業

1949年 高等文官試験司法科合格

1953年 第一生命保険相互会社入社

1967年 第一生命保険相互会社退社

日本弁護士連合会東京弁護士会理事として活動（副会長）
任期一年、期間満了後退社

株式会社大気社（東証第一部上場）社外監査役

1970年 財団法人東方研究会常務理事・評議員

1989年 三信倉庫株式会社取締役

勳四等瑞宝章を受ける

東方學術推進顕彰

森田禪朗管長

- 1923年1月20日 生
- 1935年 得度受戒
- 1954年 学位受領（医学博士）
- 1945年～1997年 社会福祉法人四天王寺福祉事業団四天王寺病院医師
- 1949年～1995年 宗教法人四天王寺支院中之院住職
- 1955年～1979年 宗教法人四天王寺執事
- 1955年～1983年 社会福祉法人四天王寺福祉事業団常務理事
- 1957年～1982年 学校法人四天王寺国際仏教大学短期大学部非常勤講師
- 1962年～ 民生委員児童委員
- 1979年～1995年 宗教法人四天王寺執事長
- 1982年～ 大阪社会事業経営協会会長
- 1983年～1995年 社会福祉法人社会福祉法人福祉事業団理事長
- 1983年～1991年 大阪市仏教会会長
- 1984年～1995年 学校法人四天王寺学園理事長
- 1985年～1993年 社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団理事長
- 1991年～ 大阪府仏教会会長
- 1992年～ 大阪市民生委員児童委員連盟会長
- 1993年～ 社会福祉法人大阪市社会福祉協議会副会長
- 1993年～ 大阪市社会教育委員
- 1995年～ 宗教法人四天王寺副管長
- 1997年～ 宗教法人四天王寺管長

東方學術賞

金知見博士

- 1931年11月28日 生
- 1960年 東国大学校仏教学科卒業
- 1963年 哲学碩士取得（東国大学校）
- 1967年 駒澤大学大学院人文科学研究所博士課程修了
- 1971年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了
- 1973年 文学博士号取得（東京大学）
- 1970年～1976年 東国大学校仏教大学助教授
- 1976年～ 日本印度学仏教学会理事
- 1976年～ 大韓伝統仏教研究院 院長
- 1983年～1989年 江原大学校人文科学大学哲学科教授
- 1988年～1989年 江原大学校人文科学研究所所長
- 1989年～ 韓国精神文化研究院教授
- 1990年～ 海東仏教大学大学院長
- 1990年～ 仏教教育大学大学院長
- 1994年～1995年 東京大学人文科学研究科客員教授

東方學術賞

田辺和子博士

- 1944年1月20日 生
- 1967年 東京大学文学部卒業
- 1970年 東京大学大学院修士課程修了
- 1975年 東京大学大学院博士課程修了
- 1976年～ 東方学院講師
- 1979年～1984年 埼玉大学教養部非常勤講師
- 1990年～ 名古屋大学文学部非常勤講師
- 1991年～1992年 敦賀女子短期大学助教授
- 1993年～ 財団法人東方研究会評議員
- 1993年～1994年 愛知学院大学大学院文学研究科研究員
- 1995年 文学博士号取得（愛知学院大学）
- 1995年～ 愛知学院大学文学部宗教学科非常勤講師